

南三陸町訪問

訪問日：平成25年9月17日（火）

南三陸町の放課後子ども教室

南三陸町では、戸倉小学校において「戸倉っ子教室」と称して、放課後子ども教室事業を本年度より実施しています。東日本大震災の影響により志津川小学校内に戸倉小学校が併設されています。児童はスクールバスでの通学となり、バスが発車するまでの子どもたちの安心・安全な居場所として「戸倉っ子教室」が運営されています。戸倉小学校の全校児童が子ども教室に登録していますが、高学年の児童は学校での放課後活動との兼ね合いでなかなか参加できないようです。

生涯学習課課長補佐の佐々木さんから、「震災で地域コミュニティが崩壊し公民館機能も失われている。そんな中で NPO 法人の協力をいただきながら事業を推進している。」また、「地域の人材を確保することが困難で、事業を行っていく上での人的要素も限られている。」など、教室運営上の苦勞をお聞かせいただきました。

学校区	実施場所	運営スタッフ	活動時間	開設日数
戸倉小学校区 (全校児童登録77名)	戸倉小学校(志津川小内) 教室・体育館・校庭	コーディネーター 1名 教育活動サポーター 7名 教育活動推進員 6名	14:30 ~ 16:00	200日 うち休業日 0日

☆☆戸倉っ子教室（戸倉小学校区放課後子ども教室）☆☆



南三陸町教育委員会で情報交換を行った後、戸倉っ子教室（戸倉小学校）に訪問しました。この日の活動はスポンジボールテニス教室でした。NPO 法人コ・クリエーションセンターの協力で行っている活動です。活動場所の体育館を訪れると、ラケットを手に懸命にボールを追いかけ指導員さんとラリー楽しんでいる子どもたちがいました。指導員さんの元気なかけ声の下、子どもたちは思う存分からだを動かしていました。運動不足解消には最適のようです。

外を覗いてみると、長縄跳びや遊具での自由遊びに熱中している児童たちもいました。外での活動は NPO 法人キッズドアの方々がスタッフとして子どもたちの活動を見守っています。コーディネーターの片貝さんにお話を伺ったところ、

「子どもたちが毎日笑顔で元気に活動してくれ嬉しい。」「広い校庭で、サッカーなどの球技が自由にできればもっと楽しいのになあ。」と話してくれました。志津川小との併設ということで施設利用等に制約があるそうです。

体育館ではスポンジテニス、外では自由遊び、「児童たちは自分が活動したい場所に行って自分のやりたいことを自由に行う。それが楽しいんだよ！」と校内を案内してくれた戸倉小の門脇校長先生からお話をいただきました。また、「併設している志津川小学校の児童も、放課後子ども教室の楽しそうな雰囲気誘われ、自由に活動に参加している。」とのことでした。

少し太陽も傾き、教室終了の時刻が迫ってきた頃、元気に遊んでいた児童が自然に集まりだしました。そう、スクールバスの出発時間です。全員で元気に「さようなら」のあいさつの後、校長先生をはじめ先生方、子ども教室のスタッフが児童一人ひとりと握手やハイタッチをしながらバスに乗る子どもたちを見送ります。学校、教室運営スタッフが一体となって子どもたちを見守っていることを再確認させられる温かみを感じた光景でした。

順番が来るまで
鬼ごっこで遊ぼう！



ボール拾いは
俺に任せて



今度は20回
ラリーを続けよう！

せーのっ！
むずかしいな？！



スタッフさん
押して～



校長先生さようならの
握手しよっ！

また明日 さようなら



寂しいな みんな帰っちゃった
さあ、明日の打合せをしよう！